

コース名	科目名	選択科目名	対象学年
良医の礎	リベラルアーツ選択Ⅰ	ワンダーサイエンス	1
開講学期	科目責任者	選択科目担当者	全体資料
2学期	泰山 浩司	西村 泰光	無

授業到達目標

研究者による多様な科学研究を紹介することによって、医学・医療の発展における研究の重要性を認識させ研究マインドの育成に寄与する。

- 1.日常で目にする自然現象に関心を持ち自ら考えることができる。
- 2.疾患の背景には生命の仕組みがあり、その仕組みには自然や環境が関わっていることを説明できる。
- 3.医学を極めるためには幅広い自然科学への見識が必要であることを説明できる。
- 4.研究者による多様な科学研究が医学研究に結びつき先進医療を支え社会に貢献していることを説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時 限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/2	水	1	講義	西村泰	衛生	老化 (Senescence) と寿命 -私たちが選んだ命のルール-	A-8-1)-1, C-1 E-8
2	9/16	水	1	講義	氷見	生理2	ランニング万能説?	A-8-1)-1, C-1
3	9/23	水	1	講義	橋本謙	生理1	科学は不確かだ! -当たり前は当たり前 前に非ず-	A-8-1)-1, C-1
4	9/30	水	1	講義	橋本謙	生理1	心臓は再生できるのか? -進化学的観点から-	A-8-1)-1, C-1
5	10/7	水	1	講義	堺	微生物	新型インフルエンザウイルスはどこからくるのか	A-8-1)-1, C-2-3) C-3-1)
6	10/14	水	1	講義	北風	薬理	細胞から学ぶストレス解消術	A-8-1), C-1
7	10/21	水	1	講義	西村泰	衛生	ナノトキシコロジー -超微細科学の影を見逃すな!-	A-8-1)-1, B-1-6) C-1
8	10/28	水	1	講義	矢作	免疫	遺伝子改変動物を知ろう	A-8-1)-1, C-1 C-3-2)
9	11/4	水	1	講義	山内	生化	新薬とジェネリック医薬 ~全くことなるストラテジー	A-8-1)-1, C-1
10	11/11	水	1	講義	山内	生化	産みの苦しみ、学ぶ苦しみ ~産学連携の泣き笑い	A-8-1)-1, C-1
11	11/18	水	1	講義	吉留	衛生	死ってなんだろう	A-8-1)-1, C-1 E-9-1)-1, E-9-1)-2
12	11/25	水	1	講義	郷	病態代謝	あまくない「糖」のお話	A-8-1)-1, C-1
13	12/2	水	1	講義	西松	自然	オオサンショウウオが医学を変える?!!	A-8-1)-1, C-1

評価割合・基準・方法

[その他] 100%

[評価方法] その他

[備考] 授業毎に提出するeリアクションペーパー (eRP) を100点満点で評点を付け (欠席時=eRP提出無しの回は0点)、全講義の平均点を総合評価とする。eRPは授業時間内 (最後の15分程度) に各人がスマホorタブレットで入力し送信=提出する。講義を聴いて気付いた事、感じたり驚いた事や、またそこから浮かぶ疑問や自分の考えなどなど…その脳内から迸る全てを指先からスマホにタブレットに打ち込んで欲しい! (出来るだけ沢山書くこと!)

※eRPへ要求されることは、その回によりけり、担当教員が独自に質問を設けるなど、アレンジしている場合も有ります。お楽しみに!!

※eRPへのアクセスは当日QRコードにて示されます。

課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて

eRPには質問欄もあり、回答先 (e-mailアドレスなど) を付記することで担当教員に直接質問することが可能。重要な指摘や疑問への回答はポータルシステムを通じて履修者全員で共有し、一層の学習効果を期待する。

教科書

各回、講義担当者がスライド、プリント、動画等の資料を準備し教科書・参考書に代える。

参考書

(特になし)

準備学習 (予習・復習等)

日常生活に存在する自然現象に関心を持ち、植物や動物、そして人間が活着していることを不思議に感じ、私たちの体は、命は、生物は、どうなっているのか？素朴な疑問を頭に浮かべ、自問自答しておく。あらゆるメディア・媒体で目にする科学記事に関心を持ち、自分でもまた考える。以上を予習および講義後の復習として科す。それぞれ概ね30分程度を充てること が好ましい。

講義についての注意事項

各回の先生の話から、自然の不思議、生命の不思議を感じよう！！あなたが医師になるならば、人を知らねばならず、人を知るには生命を知らねばならない！！この講義を通じて、自然・生命への関心が高まり、人間を理解し、医学の学習が一層高まることを期待しています。

オフィスアワー、連絡先

★★★迷わずワンダー！ワンダーが君を医学へと導く！★★★

“旨い”が口を突くように、悲劇に涙が溢れるように、君の心を揺さぶる森羅万象、それがワンダーサイエンス！その高まりこそが科学への医学への学びの渴望だ！ワンダーサイエンスでワンダーしよう！学びの発火を心に遺そう！道標は魂の灯火が教えてくれる！憶えるなんて二の次だ！迷わずワンダー！ワンダーが君を医学へと導く！

★★★OFFICE HOUR 12:15-13:00 or 17:45-18:30 ★★★

eRPには質問欄があります、思い立ったら先ずはそこへ質問してみよう！（E-mailアドレスなど回答先を記すのを忘れずに）或いは後から何か思いついたら下のメールアドレスへ！いつも皆さんを待っています！

西村 泰光：yas@med.kawasaki-m.ac.jp

山内 明：akiray@med.kawasaki-m.ac.jp

西松 伸一郎：shin@med.kawasaki-m.ac.jp

橋本 謙：khashimo@med.kawasaki-m.ac.jp

氷見 直之：himi@med.kawasaki-m.ac.jp

堺 立也：sakai@med.kawasaki-m.ac.jp

吉留 敬：kei_y@med.kawasaki-m.ac.jp

郷 慎司：goshinji@med.kawasaki-m.ac.jp

矢作 綾野：yahagi@med.kawasaki-m.ac.jp

北風 圭介：kitakaze@med.kawasaki-m.ac.jp

昨年度からの変更点・改善項目

★昨年度から原則紙によるリアクションペーパーの回収をせず、各人のスマホorタブレットによる回答、eRPをスタート。学生・教員いずれからも好評であり、またeRPへの回答内容を見ても思いがストレートに、或いは一層の考察を加えた記述が見られるなど良い効果がありました。今年度はスマホorタブレットでのミニクイズを盛り込むなどして「へーそうなんだ！」感を一層高め、研究マインドが一層育成されるよう改善します。

★昨年度はeRPの具体的な説明はポータルメールからでした。今年度は、オリエンテーション時にeRPへの回答方法、その効果など、事前に十分に伝え、リベラルアーツ選択I授業の選択材料となる情報の提供、授業への一層の理解を図ります。

★「先生の授業から僕の好きな歌を思い出します。それは・・・」「授業を聞いて、生命への理解が一層深まり、生命を繋ぐ医業である産婦人科医師となる思いが一層強くなった」など、昨年度も教員自身が学びとなるコメントを多数頂きました。今年もそれらを糧に、もっともっと”オモシロ楽しい”ワンダーサイエンスとなるよう努めます。

学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

研究者による多様な科学研究を紹介することによって、医学・医療の発展における研究の重要性を認識させ研究マインドの育成に寄与する。

ナンバリング

GLLA110